豊かなアジアを築く金融協力の推進を求める【概要】

～債券市場整備でアジアの成長を支える～

２０１０年３月１６日
（社）日本経済団体連合会

アジア経済成長戦略

域内経済統合の推進による
貿易投資活性化

後押し

ハード・ソフトの広域インフラ整備

為替リスクの緩和

アジアにおける企業の資金調達手段の多様化（現地通貨建て資金調達の容易化）

民間資金を活用したインフラ資金の供給

通貨の安定

4. 通貨の安定

チェンマイ・イニシアティブ（CMIM）の拡充

債券・株式市場の整備

アジア各国市場の発展段階は様々であり、2020年を目標に発展段階に応じた整備が必要

目標：2020年

1. 各国の債券・株式市場整備

(1)各国市場インフラの整備と規制の緩和
(2)アクターの育成（発行体、機関投資家、仲介機能）

2. 広域インフラ整備のための民間資金の活用

・インフラ・ファンドの開発
・各国の貯蓄等の活用

3. 日本の債券市場の積極的な活用促進

(1)サムライ債市場の活用
(2)アジア金融資産の対日投資の促進

中長期

5. 市場間の連携

・東アジア経済共同体の構築に向けた、域内債券市場間の連携のためのインフラを整備
・わが国によるイニシアティブの発揮

アジアとともにわが国も成長

貢献